



タンポポ調査・西日本 2010

みんなで調べた西日本のタンポポ



2009年から2010年にかけて西日本一帯でタンポポの分布を調べました

「タンポポ調査・西日本2010」は、身近な花であるタンポポの分布を調べ、自然環境に関する基礎的情報を蓄積するとともに、調査にご参加いただいた方々が身の回りの自然環境に関心を持ち、その変化に目を向けていただくことなどを目的としています。

今回は、西日本の19府県*にわたる広い範囲で調査が行われ、市民のみなさんに加えて、博物館や大学などの専門家が協力することにより、詳細でかつ学術的にも裏付けられた結果を出すことができました。その一部を紹介しますが、紙面の都合上たくさんのことは示すことができません。ホームページで報告書や分布図など、詳しい結果をご覧ください。

タンポポ調査 西日本

検索

* 福井、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀の19府県

調査で集まったデータ数

		福井	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	全域			
在来種	黄白色	カンサイタンポポ	8	177	589	714	1911	1376	862	1097	17	3	3092	148	10	5119	5078	93	48	74	11	20432		
		オオズタンポポ(仮称)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	472	12	1	0	0	510	
		オキタンポポ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	305	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	305
		セイタカタンポポ	143	2	119	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	273
		トウカイタンポポ	0	76	124	0	3	2	0	6	42	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	256
	倍數体	シナノタンポポ	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	9	0	0	0	9	0	3	25		
		不明・その他	16	740	18	26	0	3	1	5	0	1	2	14	0	1	3	2	1	0	0	833		
		合計	167	995	850	740	1914	1391	863	1108	62	309	3097	162	44	5120	5081	567	70	75	14	22634		
		クシバタンポポ	5	1	0	10	0	22	1	0	30	36	64	12	12	42	1	19	107	0	0	357		
		ヤマザトタンポポ*	42	0	18	8	0	77	1	0	40	269	34	28	3	0	0	116	9	0	0	645		
白花色	ツクシタンポポ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	9			
	モウコタンポポ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	0	39			
	不明・その他	14	0	7	82	2	2	0	0	0	0	3	1	2	0	0	1	3	0	0	117			
	合計	61	1	25	100	2	101	2	0	70	305	101	41	17	42	1	136	123	42	3	1167			
	キビシロタンポポ	1	25	2	5	0	12	23	0	32	11	692	240	3	0	0	274	16	3	0	1323			
外来種	シロバナタンポポ**	30	458	181	85	118	147	175	176	96	481	427	312	319	224	140	2266	2360	156	83	8250			
	不明・その他	0	2	0	15	0	0	1	0	5	0	0	17	2	0	89	0	0	0	0	131			
	合計	31	485	183	105	118	159	199	176	133	492	1119	569	324	224	140	2629	2376	159	83	9704			
	アカミタンポポ***	92	86	129	101	523	333	199	29	102	168	560	321	111	260	651	524	405	118	36	4748			
	セイヨウタンポポ***	314	426	693	463	2168	1124	895	333	854	963	1482	980	405	600	474	2113	2022	433	197	16939			
不明(タンポポ)	不明・その他***	304	519	623	771	1631	3101	284	369	1067	689	1570	1157	138	1011	1924	1858	1043	264	55	18378			
	合計	710	1031	1445	1335	4322	4558	1378	731	2023	1820	3612	2458	654	1871	3049	4495	3470	815	288	40065			
全種合計		976	2553	2512	2370	6364	6211	2443	2020	2294	2927	8319	3254	1042	7287	8276	7853	6043	1091	394	74229			

*ケンサキタンポポを含む **キバナシロタンポポを含む ***雑種を含む

- 7万4千件を超えるたくさんのタンポポ*が集まりました。
- カンサイタンポポ、トウカイタンポポなどの在来種 12 種類と外来種(アカミタンポポ、セイヨウタンポポ)の計 14 種類が見つかりました。
- 各府県ごとでは、今まで記録されていない種(奈良県のクシバタンポポ、高知県のキビシロタンポポなど)が見つかりました。
- それぞれの種について、詳細な分布がわかりました。特に、カンサイタンポポが東瀬戸内海周辺を中心にした特徴的な分布をしていることが明らかになりました。

*花が無いので判別できないものや、タンポポ以外のものを含めると 78,481 件のデータが集まりました。

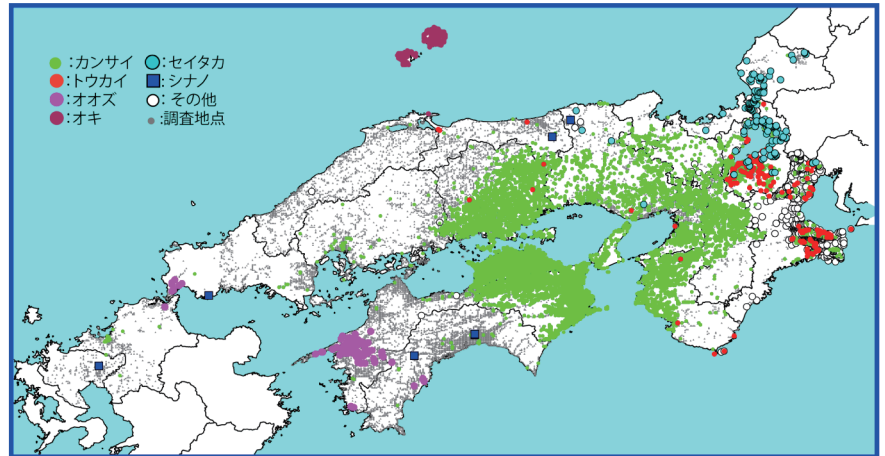


カンサイタンポポの分布

在来種(二倍体)

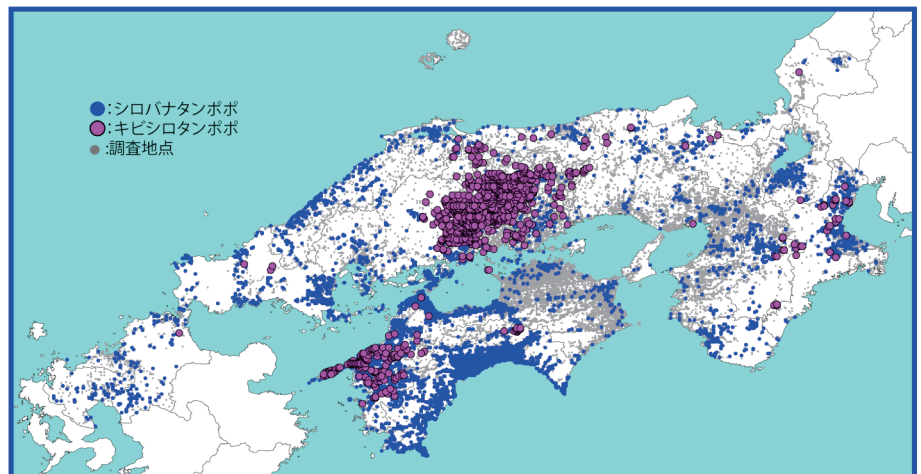
花は黄色で、花粉は均一、総苞は反り返らない

大阪や香川など東瀬戸内海周辺にはカンサイタンポポが多く分布しています。ほかにもトウカイトンポポやセイタカタンポポ、オキタンポポなどが限られた地域に分布しています。トウカイトンポポやシナノタンポポについては大阪や岡山、山口など本来の分布からは離れた場所でもわずかに分布していますが、生育している様子からそのような場所は移入されたものと思われる。また、トウカイトンポポによく似たものが愛媛や山口に古くから知られていて、今回の調査ではオオズタンポポと仮称しました。



白花型在来種(倍数体)

花は白色かやや黄色みを帯び、花粉はバラバラ

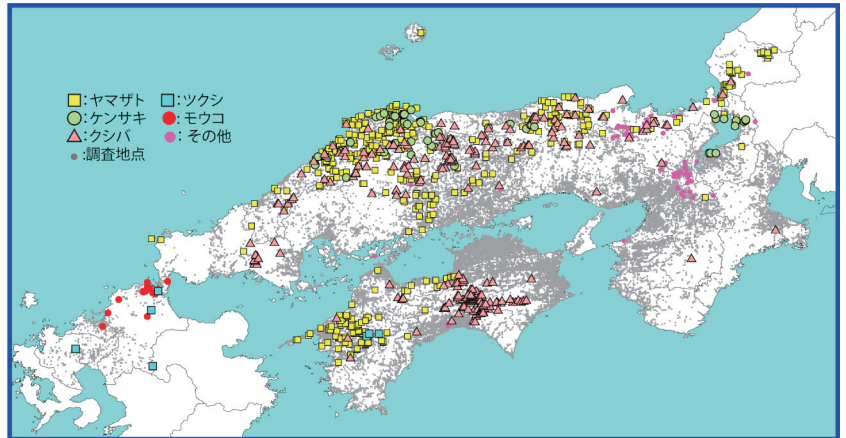


花は黄色で、総苞はシロバナタンポポの形をしたキバナシロタンポポが見つかりましたが、シロバナタンポポと区別するべきかについては今後の検討課題となっています。

黄花型在来種 (倍数体)

花は黄色で、花粉はバラバラ

図鑑などに掲載されていないため、地元でもあまり知られておらず、分布などがよくわかっていないことが多い種です。



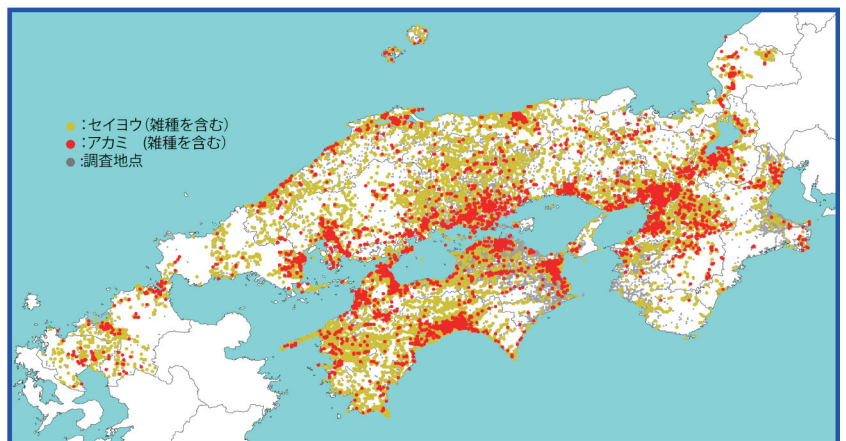
※分布図ではヤマザトタンポポとケンサキタンポポを区別して表示しました。



外来種

花は黄色で、花粉はバラバラ、総苞は反り返る

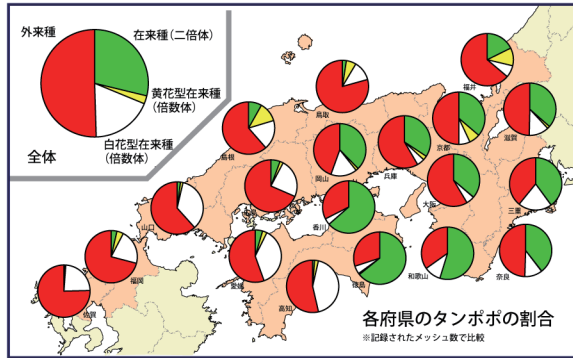
セイヨウタンポポやアカミタンポポはヨーロッパからやってきたタンポポです。花粉がつかなくてもタネができることなどで、都市化した場所によく生えていますが、山奥の林道などにも見られます。最近では在来の二倍体のタンポポと雑種をつくって、広がっています。雑種はDNAを調べないと区別できませんので、この調査では雑種を含めて分布図を描きました。一部について、DNAを調べたところ、セイヨウタンポポの約6割が、アカミタンポポの約3割が雑種であることがわかりました。



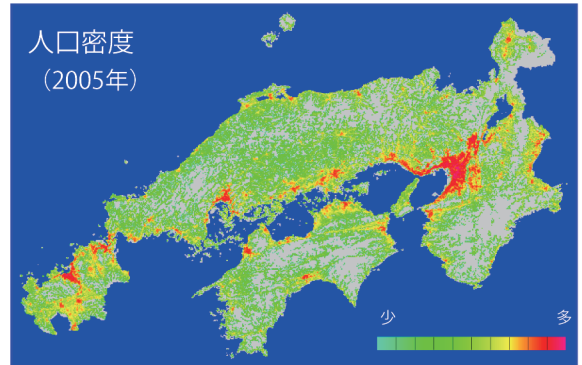
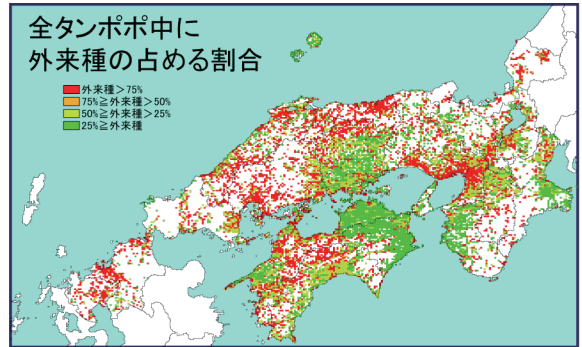
写真左: セイヨウタンポポの花とタネ。写真中: アカミタンポポの花とタネ写真。右: コンクリートの隙間に生育するアカミタンポポ。

各府県のタンポポの構成

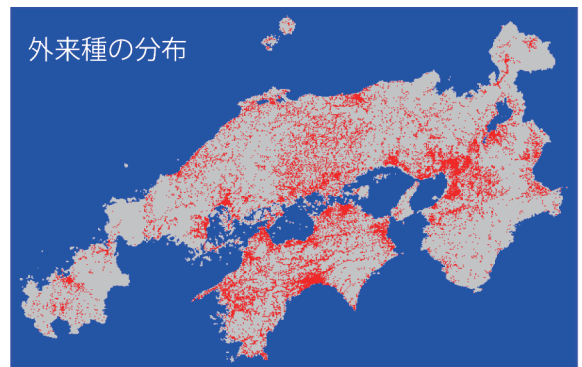
各府県ごとにタンポポの割合を調べたところ、地域によってタンポポの種類が大きく違っていることがわかりました。



特に四国では、東の香川・徳島でほとんどの在来のタンポポが黄色なのに対して、西の愛媛・高知では白色でした。このように身近な花であるタンポポでも、地域によって違っているという生物多様性を示す良い資料が得られました。



しかし、外来種の分布図を見ると、外来種が密に分布しているところは、人口密度も高いように見えます。このような地域でも使える環境指標については、今後の検討課題となっています。



近畿地方で 2005 年と 2010 年の外来種の割合を比較したところ、平均で 4.9 ポイント外来種の割合が減っていました。この現象が一時的なものなのかはわかりませんが、大阪府の都市部では在来種の割合が増えている例が観察されています。

タンポポと自然環境

タンポポ調査はタンポポをものさし（指標）にして、環境、特に都市化との関係を調べるために行われてきました。

そこで、2005 年にも行った 2 × 2 メッシュごとに外来種の割合を調べました。すると、近畿地方など東瀬戸内海周辺は、人口密度が高いと外来種の割合も高くなっていました。しかし、中国地方西部や九州北部では、そのような傾向をつかむことができませんでした。これは、中国地方西部や九州北部ではもともと在来種の分布が少ないからと考えられます。

主催 タンポポ調査・西日本2010実行委員会

連絡先 (社)大阪自然環境保全協会 〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-13 ハイム天神橋202号
TEL:06-6242-8720 FAX:06-6881-8103 ホームページ: <http://www.nature.or.jp/Tampopo2010/>

後援 環境省自然環境局生物多様性センター／日本環境教育学会

NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク／(財)日本自然保護協会

調査にあたっては(財)国際花と緑の博覧会記念協会、武田科学振興財団、(社)大阪自然環境保全協会、NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワークから助成をいただきました。

© タンポポ調査・西日本 2010 実行委員会, 2011